

平成28年度 教職員による学校評価

11/7～11 実施
回答数:56名

■ 1. よく当てはまる ■ 2. だいたい当てはまる
■ 3. あまり当てはまらない ■ 4. 当てはまらない

質問事項		1	2	3	4	
今年度の重点目標	学習指導	1 基礎・基本の定着と、授業の質の向上による学力の向上を図る。	10	43	3	0
		2 自学・自習の学習態度を養い、家庭学習習慣の確立と家庭学習内容の充実を図る。	7	36	13	0
	生徒指導	1 基本的な生活習慣の確立と、他を思いやる心、協力奉仕の精神を育む教育を推進する。	8	39	8	1
		2 規範意識の醸成に努め、事故や盗難等のない安全安心な学校づくりに努める。	6	41	9	0
		3 挨拶や端正な制服の着用、交通ルールの遵守等、地域社会から評価される態度と整容を身に付けさせる。	4	42	9	1
		4 部活動、学校行事、生徒会活動等へ積極的に取り組ませる。	17	35	3	1
	進路指導	1 面談等を通して生徒の自己理解を深めさせ、在り方生き方教育としての「志教育」を指導する。	10	37	8	1
		2 生徒の自己実現のために、3年間を見通した系統的・組織的な進路指導の一層の推進に努めるとともに、進路に関する研修の機会の設ける。	12	35	7	2
		3 国公立大学や難関私大等に現役合格できる柔軟な頭脳と強い意志を養う。	8	30	15	3
	保健・安全・防災	1 生徒の心身の健康保持と体力増進を図る。	10	44	2	0
		2 交通安全の意識高揚(特に自転車通学生)を図り、事故の未然防止に努める。	6	37	13	0
		3 防災教育を通して日常の安全点検や避難訓練の充実を図り、地域社会と連携して危機的状況にも対応できる学校を目指す。	11	39	5	1
開かれた学校	1 学校HP等による本校教育活動の積極的広報に努める。	10	35	10	1	
	2 授業公開や講演会等による学校公開を積極的に行う。	12	41	3	0	
職場環境	1 学校目標の共有、校務の円滑化・効率化により、多忙化・多忙感解消に努める。	4	23	18	11	
	2 報告・連絡・相談に基づく教職員の連携協力に努める。	5	28	21	2	
	3 校内研修の充実により教職員のキャリアアップを目指す。	7	36	13	0	
総務部	1 校務運営の円滑化のための環境整備に努める。	7	38	10	1	
	2 活力溢れる校風の醸成と広報に努める。	4	36	14	1	
	3 保護者・同窓会・地域など、関係団体との連携・協力関係の形成に努める。	7	45	2	1	
	4 図書館および視聴覚室の整備と、活動の充実を図る。	7	42	4	2	
教務部	1 基礎・基本の定着や学力向上に向けた学習環境の整備に努める。	7	42	6	1	
	2 自学・自習の学習態度を養い、家庭学習の時間確保と内容の充実を図る。	6	37	11	2	
	3 教務に関する事務処理(成績処理・成績通知等)の効率化を図る。	9	37	8	2	
	4 教育課程や学習評価規程の点検・研究に努める。	3	41	9	3	
生徒指導部	1 基本的な生活習慣を身に付け、挨拶・制服の着こなしなどをおして地域社会から評価され、社会人として通用する態度を身につけさせる。	6	44	6	0	
	2 規範意識の醸成に努め、他を思いやる心を育む。	4	41	11	0	
	3 教科外活動(部活動・生徒会活動・学校行事等)に積極的に取り組ませ、泉高校生としての自覚と誇りを持たせる。	16	34	5	1	
進路指導部	1 個性・適性の発見を促し、将来の生き方を探求させ、目標の早期確定と学力の伸長を図るよう積極的に指導援助する。	8	41	6	0	
	2 大学入試制度等の情勢の変化に対応するため、より有効・適切な情報を収集・作成し各方面に提供する。	12	35	7	2	
	3 生徒・保護者・地域の期待に応える進路指導体制を構築する。	7	40	8	1	
	4 情報機器等の活用によるデータや資料の分析を通して、適切な進路指導を行う。	10	35	10	1	
部・学年の努力目標	保健厚生部	1 保健教育の充実と積極的な健康管理の実現に努める。	10	44	2	0
		2 生活環境の整備と美化の推進を図る。	6	39	8	3
		3 防災教育・安全教育・危機管理に努める。	10	39	7	0
		4 教育相談の充実を図る。	15	40	1	0
教育企画部	1 本校が目指すべき学校教育の方向性を、中長期的な視点から課題を探り、改善に向けて教職員の共通理解を図る。	8	37	8	3	
	2 生徒の生きる力を育てる「総合的な学習の時間」の充実を図る。	14	35	6	1	
	3 教育の質を高める職員研修の充実を図る。	11	39	5	1	
英語科	1 関連分掌・学年と連携しながら、英語科行事を企画し、効果的に運営実施する。	15	36	5	0	
	2 「実践的英語教育支援事業、先進的英語教育充実支援事業、オリンピック・パラリンピック・ムーブメント調査研究事業」を活用し、より充実した教科指導を行う。	12	36	7	1	
	3 英語運用力を測るための外部英語テストを活用し、より客観的な教科指導の評価を行う。	14	40	2	0	
第1学年	1 心身ともに鍛錬し、目標と反省をもって自主的・主体的に適切な判断と行動ができるようになる。	4	47	2	2	
	2 自己の将来を考え、適切な進路選択ができる力を養う。	5	46	4	0	
	3 基本的学習習慣を確立させるとともに基礎力の定着を図る。	6	44	5	0	
	4 社会に適應できるコミュニケーション能力と節度ある態度を培う。	5	43	5	2	
第2学年	1 自主的・主体的に考え、適切な判断と行動ができるように促す。	5	45	4	2	
	2 自己の将来をより具体的に考え、適切な進路選択ができるように促す。	4	48	4	0	
	3 計画的、継続的に学習に取り組む姿勢を確立させるとともに、学力の向上を図る。	5	45	5	1	
	4 社会人として要求される基本的な生活態度を確立させる。	3	47	3	3	
第3学年	1 自主的・主体的に考え、適切な判断と行動ができるように促す。	4	47	4	0	
	2 計画的、継続的に学習に取り組む習慣を確立させるとともに、高校での学力の完成を図る。	5	46	3	1	
	3 進路目標の実現を目指して、最後まであきらめずに努力し続けられるよう支援する。	11	40	3	1	

